

ぼうはん栃木

発行

(公社) 栃木県防犯協会

栃木県風俗環境浄化協会

宇都宮市昭和3-2-8

電話 028(666)7700

FAX 028(666)7738



身近な犯罪が激増!!
前年同期比(5月末) +37.8%
～ 防犯対策の強化を ～



「防犯マスコット」
©SUSUMU MATSUSHITA ENTERPRISE

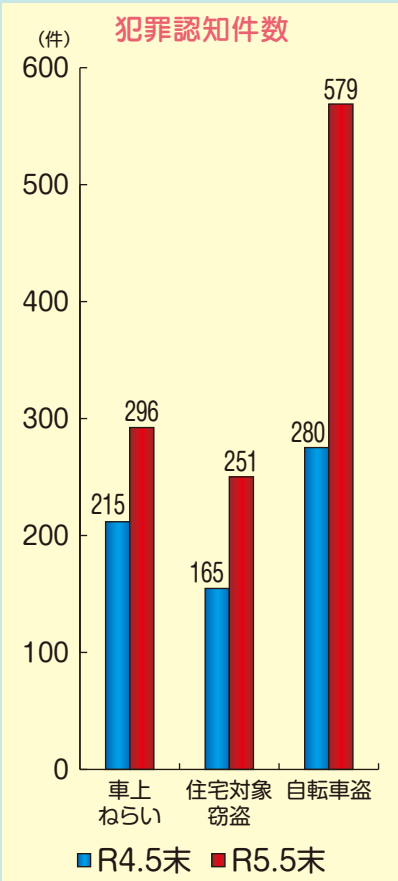


風俗環境浄化協会
シンボルマーク

No.202号

みんなで つくろう 安心の街

犯罪発生件数の激増
— 緊急犯罪抑止週間の実施 —



令和5年5月末 ※暫定値	認知件数		前年同期比	
	累計	件数	増減比	
刑法犯総数	4,657件	+1,278件	+37.8%	
重点抑止犯罪	739件	+119件	+19.4%	
特殊詐欺	37件	-25件	-40.3%	
わいせつ	40件	+12件	+42.9%	
住宅対象窃盗	251件	+86件	+52.1%	
自動車盗	109件	-35件	-24.3%	
車上ねらい	296件	+81件	+37.7%	



本年に入り、広域強盗事件の多発、外国を拠点とする犯罪集団、繁華街で発生する貴金属対象の強盗事件等凶悪な事件が発生し、治安が良いとされる日本においても、体感治安の悪化が憂慮されているところだ。

本県の刑法犯認知件数は、昨年一年間で八、八八三件と平成一六年以降、一九年連続で減少しているところではあります。全国に目を向けると、多くの都道府県で犯罪が増加し、二〇年振りに認知件数が増加するなど、安全で安心な暮らしが脅かされている現状にあります。

今年に入り、栃木県でも、犯罪が急増しており、自転車盗をはじめ、住宅対象窃盗、車上狙いといった犯罪が増加しております。具体的には、自転車盗はほぼ倍増、住宅対象窃盗は五〇%以上の増加、車上狙いが約四〇%の増加(※)と、人流の回復に伴い、犯罪の増加傾向が顕著に現れています。(※いづれも暫定値)



この危機的状況に歯止めをかけるべく、去る五月二六日から六月一日までの一週間を「緊急犯罪抑止週間」と定め、関係団体と連携したパトロールを実施するなど、県民の皆様には防犯対策の強化を呼び掛けています。

皆様にも、犯罪被害に遭わないよう注意していただくとともに、不審な事があれば、迷わず一〇番通報するなど、地域の安全に目を向けていただくようお願いいたします。

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

七月一日(土)～七月三十一日(月)

毎年七月は、「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です。

令和四年中の県内における非行少年の検挙・補導人員は二〇九人で、統計史上最少を記録した令和三年から五人の微増となり、下げ止まりの兆候が見られるところです。

また、近年SNSにおいて「闇バイト」「裏バイト」と称し、仕事の内容を明らかにしないまま、高額報酬を示唆する求人広告を掲載し、強盗や特殊詐欺などの実行犯を募るといった実態が確認されており、実際にこれらに応募した少年が特殊詐欺や強盗を敢行し検挙されています。

県警察では、こうした情勢を踏まえ、サイバーパトロールの強化や少年が非行に走る前の対策を重視し、小学生の段階から規範意識を育むため、学校と連携した「非行防止教室」や「薬物乱用防止教室」を重点施策として推進するとともに、非行を繰り返すおそれのある少年に対しては、積極的に手を差し伸べ農業体験活動などの社会参加活動を通じて少年と地域社会との絆を構築する「立ち直り支援活動」等各種施策に取り組んでいます。

家庭・学校・地域及び警察が丸となり、青少年の非行防止・被害防止に取り組む必要があります。警察では、「非行少年を生まないう社会づくり」を目指し、県民の皆様方と連携して、次の取組みを推進して参りますので、ご協力をお願いいたします。

① 広報啓発活動の推進

県民の皆様方が、青少年の非行・被害防止、健全育成及び有害環境の浄化等に取り組んでいただけるよう、広報啓発を推進します。

② 有害環境浄化活動の推進

事業者等に対して、未成年者への酒類・たばこ販売等の防止、青少年の深夜立入制限の要請等、青少年を取り巻く有害環境浄化活動を推進します。また、青少年を有害情報から守るため、児童が使用する携帯電話・スマートフォン等のフィルタリング導入や家庭でのインターネット利用のマネー向上を目指します。

③ 地域ぐるみの補導活動

少年サポートセンターや少年指導委員、学校等関係機関、地域住民と連携し、未成年者の飲酒や喫煙、深夜はいかないなどの不良行為の早期発見、補導活動に努めます。

④ 各種相談の充実強化

少年や保護者からの相談に対応し、適切な対策が講じられるよう、学校への出張相談室、あしたルームの開設や、電話相談コーナー「ヤングテレホン」により、少年の保護者が相談しやすい環境づくりを進めます。



防犯協会の
「賛助会員」を
募集しています

安全で安心な地域社会づくりに協力しています。
防犯協会会員之証
公益社団法人 栃木県防犯協会

栃木県防犯協会では、県民の皆様のご支援を受け、

- 犯罪抑止と被害防止
- 少年の非行防止と健全育成
- 薬物乱用防止

● 犯罪のない安全で明るく住みよい社会づくりに寄与するようを目的とし、地域安全活動事業に取り組んでいます。

さらに充実した幅広い事業活動を推進するために、当協会の目的と活動に賛同される方のご加入をお待ちしています。

この趣旨にご賛同いただける個人・企業・団体のご加入の問い合わせはこちらです。

◎会費
年間一〇一万円
(一〇以上)

◎お問い合わせ
栃木県防犯協会
〇二八(六六六)七七〇〇
までお願いいたします。

令和五年度
栃木県防犯連絡協議会
連合会定例理事会の開催

栃木県防犯連絡協議会連合会は、去る六月九日(金)、栃木県警察本部において、令和五年度定例理事会を開催しました。

理事会では、峰岸会長、警察本部高木生活安全部長のあいさつに続き、特殊詐欺の手法を紹介したDVDを鑑賞し、その後警察本部生活安全企画課から「最近の犯罪情勢とその被害防止対策について」の説明がありました。また、「今後の防犯連絡所の運営に関する課題について」討議が行われ、活発な意見交換が行われました。



幼稚園児から花束のプレゼント

6月5日(月)、宇都宮市のさくらんぼ幼稚園の園児と引率の先生の総勢33名が当協会を訪れ、職員に対し、花束をプレゼントしました。

これは、子ども達が花のように美しい心で、健やかに育ちますようにとの願いを込めて、当該幼稚園が例年「花の日」の時期に合わせ、お世話になっている人に花束を贈り、感謝の気持ちを表わそうという趣旨から花束の贈呈を実施しているものです。

園児からきれいに咲き揃った花束を受け取り、幼児誘拐防止係の樋口指導員が心を込めて作成したピカチュウのメダル等をお礼として手渡しました。



連載マンガ
ふしぎの「フーちゃん」
作 神山 幹

良い旅を！



地区防だより

足利市防犯協会

足利市防犯協会は、今年に入り県内で自転車盗や住宅対象窃盗事件が多発しているため、栃木県警察が五月二六日(六月一日)を「緊急犯罪抑止週間」としたことにあわせ、足利警察署や防犯ボランティア団体「虎の子守り隊」と合同で、六月一日にアシコタウンあしががにおいて、チラシやグッズ等を配布し、注意を呼びかけました。



栃木地区防犯協会

栃木地区防犯協会では、令和五年五月二日、栃木駅において栃木警察署員、栃木警察署管内少年指導委員、栃木市役所職員と合同で、駅を利用する学生等に対し、自転車の盗難被害防止等の広報活動を実施したほか、駅周辺の徒歩パトロールによる防犯啓発活動を実施しました。

